

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 9日 更新

事務事業名		教育長交際事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育部	課長名	青木 洋治
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	花田 秀樹
	基本事業	64	指導力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	2213
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 1	事業連番 11596	法令根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	教育行政の円滑な運営を図るため、教育長等が教育委員会を代表し、外部の個人又は団体と交流を行う。また、必要に応じて社会通念上必要と思われる範囲内で、慶祝、弔意、見舞い、激励、行事出席の会費などを支払う。従来、「教育委員会議運営事業」の中に含まれていた教育長交際費等を、平成24年度の事業仕分けの際の意見により、平成25年度から単独事業として分離創設させた。交際費の支出状況については、平成24年10月より市ホームページ及び情報公開コーナーで公開している。
【業務の流れ】	①各種団体等からの案内状対応、外部団体への視察研修、慶弔確認などを行う。 ②必要に応じて、意見交換のための懇談会費、会議等の会費、見舞金、外部講師に対する手土産代などを社会通念上必要と思われる範囲内で支払う。
【主な予算費目】	交際費、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成24年8月開催の「合志市事業仕分け」にて、教育長交際費は「教育委員会議運営事業」に含めるべきではないとの意見があった。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動) (DO)	教育長の懇談会、会議等の会費及び視察先団体、講演会講師・会議の司会者への手土産、弔意金などの支払いを行った。	25年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 支出の件数	件	「教育委員会議運営事業」より分離創設したための増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	交流を行った個人、団体	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 件
		→ ア: 交流を行った個人、団体の件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	外部の個人、団体と交流を行うことにより、教育行政に反映することができ、市の教育が活性化する。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
		→ ア: 目的どおり支出された割合
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標	ア 件	件			6	9	6	6	6	0	
② 対象指標	ア 件	件			6	9	6	6	6	0	
③ 成果指標	ア %	%			100	100	100	100	100	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円					90	79	79	79
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円			0	0	90	79	79	79
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			2	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間			0	18	18	18	18	0
	(B) 人件費計	千円			0	73	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			0	73	90	79	79	79	

事務事業名	教育長交際事業	所属部	教育部	所属課	学校教育課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 支出の件数は平均値を見込んでいるため、達成は可能であると予想している。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 「教育長交際費の支出及び公表に関する取扱い規程」に則って行っており向上余地はない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で実施している。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 「教育長交際費の支出及び公表に関する取扱い規程」に則って行っている。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が担う業務である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

引き続き、「教育長交際費の支出及び公表に関する取扱い規程」に則って実施する。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>引き続き「教育長交際費の支出及び公表に関する取扱い規程」に則って適正な支出を心掛ける。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						